

フレアースタックによる天然ガスの燃焼について（情報提供）

一般的な石油精製プラントでは、余剰ガスを安全と環境に配慮して燃焼処理しています。

弊社では、LNGタンクから自然気化する天然ガスを火力発電所の燃料系統に混ぜて有効活用してきましたが、昨今のエネルギー情勢の変化により、火力発電所の変動幅が大きくなってきたことから、今後は、自然気化する余剰ガスを必要に応じて燃焼装置（フレアースタック）にて燃焼処理しますので、お知らせします。

燃焼処理について

- ・場 所： 日本海エル・エヌ・ジー株式会社 新潟基地 構内 フレアースタック（1基）
- ・燃焼ガス： LNGタンクから自然気化する天然ガス
- ・燃焼位置： 地上から 約55m
- ・火 炎 長： 最大 約20m

燃焼処理の様子（2022年10月13日）



場所によっては設備に火がついたように見える場合がありますが、周辺設備とは炎の熱影響を受けない十分な距離を取っていることから、安全上の問題はありません。

以 上

【お問い合わせ先】

〒957-0195 北蒲原郡聖籠町東港一丁目1612-32

日本海エル・エヌ・ジー株式会社 総務部

TEL 025-256-2131